

体育館シューズを海外へ

田辺工業高校と神島高校

田辺市あけぼのの田辺工業高校と同市文里2丁目の神島高校の生徒会はこのほど、卒業生の体育館シューズを集めてカンボジアへ送るため、共同で箱詰め作業をした。

自分たちができる国際貢献活動として、2011年度から合同で、毎年取り組んでいる。田辺国際交流協会などから補助金を受け、カンボジアのバイヨン中学校やスナダイ・クマエ孤児院に届けている。カンボジアからは、実際にシューズを履いている写真や感謝の手紙が届いており、交流にもつながっているという。

今回は卒業生から集まった体育館シューズのうち、田辺工業高校から約130足、神島高校から約200足を送った。両校の生徒会各7人は協力し、段ボール箱に詰め込んだ。

田辺工業高校生徒会長で2年生の西崎拓海君(17)は「昨年も生徒会役員として参

加した。来年も続けてシューズを送ってもらえるように、先輩に引き継ぐ」といい、神島高校生徒会長で2年生の前地孝紀君(17)は「体育館シューズを大切に使うしてほしい。自分たちの活動が役に立ってうれしい」と話した。



体育館シューズを詰める田辺工業高校と神島高校の生徒
(田辺市文里2丁目で)